

どうする？フランスで貴重品を盗まれた！



ある日パリのカフェに居た時のこと。3人の貧しそうなお子供たちが私の席に近寄ってきて、1枚の紙を差し出しながら「署名と1ユーロを下さい」と言いに来ました。可哀そうなので署名をし1ユーロを渡すと、子供たちは立ち去っていきました。

カフェを出ようとする、テーブルの上に置いておいた携帯電話が無くなっていることに気づき「あの子供たちは携帯を盗みに来たんだ！」と理解したのです。ということで今回は、**フランスで貴重品を盗まれた時の対処法**をご紹介します。

貴重品を盗まれた時

貴重品や財布を盗まれた時は、まず契約している銀行のカスタマーサービスに連絡をして、クレジットカードをブロックすることをお勧めします。

その次に最寄りの警察署に行きましょう。どこの警察署でも大丈夫です。まず受付で事情を説明します。個室に呼ばれたあとは、いつ、どこで、何を盗まれたかを質問されます。なるべく的確に答えましょう。

最後に**盗難証明書**(Récépissé de déclaration de vol)

が発行されます。加入している海外保険会社にこの書類を送ることで、保証金を請求することができます。

パスポートを盗まれた時

旅行中にパスポートを紛失

した場合、上記と同様に最寄りの警察署で

盗難証明書、または紛失証明書を発行

してもらいましょう。その後、在仏日本大使館で「仮パスポート」を発行してもらいます。この「仮のパスポート」は日本へ帰国するためだけのものなので、帰国後はパスポートの再申請をしましょう。

常に気をつけること

フランス、特にパリでは、日本人に限らず外国人旅行者を狙った盗難が多発しています。メトロや電車に乗る際は、必ず鞆を閉め肩からかけるようにし、リュックサックの使用は避けることをお勧めします。また高価な物は身に着けず、交通機関内で携帯電話を手に持つことは控えましょう。



執筆 Mari

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

